

# スポーツカムシャフト N-10 取扱説明書

製品番号 01-08-0065

適応車種及びフレーム番号 Z125PRO (BR125H-A02621 ~)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。  
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。  
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

## ☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎この取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用部品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
- ◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎当製品の取り付けには上記適応車種にあった純正サービスマニュアルを必ず参照し、確実に作業を行って下さい。
- ◎取り付けの際には適切な工具等を準備し、取り付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書や純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎ボルト、パッキン類は再使用しますが、摩耗や損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。
- ◎シリンダーヘッドの個体差により、カムシャフト取り付け時に干渉する場合があります。干渉の際はシリンダーヘッドの修正加工を行って下さい。
- ◎エンジン組立て時や使用に伴い、シリンダーヘッドはわずかに変形します。この変形によりカムシャフトが非常に脱着しにくい場合があります。この際はシリンダーヘッドを取り外し、脱着を行って下さい。

## ～特徴～

- Z125PRO のノーマルヘッド用に開発したスポーツカムシャフトです。
- ノーマルカムシャフト同様にデコンプ機構を備えています。
- ノーマルエンジン（ノーマル排気量）のハイパワー化が可能です。弊社製マフラーとの組み合わせにより更に出力がアップします。
- 弊社から販売されるFIコントローラー（FIコン TYPE-e）を併用することで内蔵の3Dマッピングにより空燃比を最適とし、更に11000rpmまでリミッターを引き上げる効果により、カムシャフト N-10 の高回転高出力型の特性を最大限引き出す事が可能になりますので大変お勧めです。
- S-Stage ボアアップキット 138cc(N-10 カム付) に採用しているカムシャフトです。S-Stage ボアアップキットのオプションカムとしてもご使用頂けます。

**注意** この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
- 製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。（部品の脱落の原因となります。）
- ボルト、パッキン類で再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は必ず新品部品と交換して下さい。（故障の原因となります。）

**警告** この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。（事故につながる恐れがあります。）

- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。  
但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。  
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

## 製品内容



部品名	個数
カムシャフト COMP.	1

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16  
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>  
お問い合わせ専用ダイヤル：0721-25-8857

※水平で安全な場所で車両を安定させる。

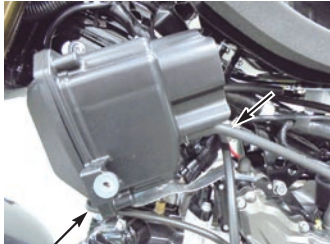
●取り外し

外装部品の取り外し

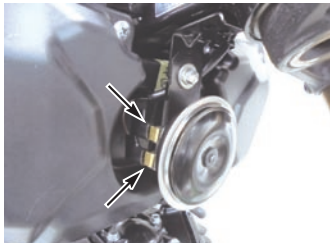
◇シートを取り外し、サービスマニュアルを参照してサイドフレームカバー左右、ミドルカウリング左右を取り外す。

エアクリーナーの取り外し

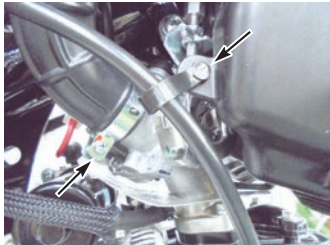
◇ブリーザーホース、ドレンホースをエアークリーナーから外す。



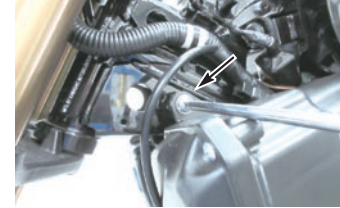
◇ホーンの配線の接続を外し、ボルトを取り外してホーンを取り外す。



◇バンドのクランプを緩め、コネクティングチューブとスロットルボディの接続を外す。ハイテンションコードのクランプを外す。



◇3本のスクリーンを取り外し、エアクリーナーをフレームから取り外す。

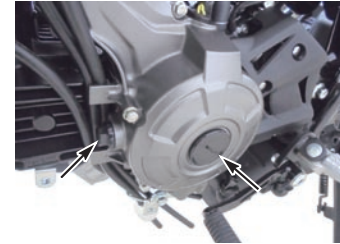


カムスプロケットの取り外し

◇ボルト4本を取り外し、カムスプロケットカバーを取り外す。各2本のボルトを取り外し、バルブアジャスティングカバーIN側、EX側を取り外す。



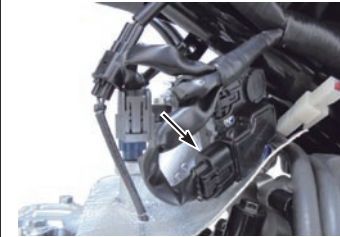
◇ジェネレーターカバーのホールプラグ2箇所を取り外す。



◇フライホイールを反時計方向に回し、カムスプロケットの“—”マークをシリンダーヘッドの突起に合わせる。

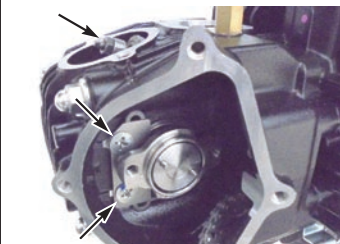


◇フライホイールを保持し、カムスプロケットのボルト2本を取り外す。◇カムスプロケットを取り外す。◇スロットルセンサコネクタの接続を外して、シリンダーのカムチェーンテンショナーのボルトを取り外し、ストッパーを時計方向にいっぱいまで回し、プッシュロッドをロックさせる。

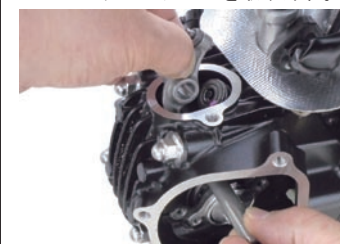


ロッカーアームとカムシャフトの取り外し

◇スクリーン2本を取り外し、ロッカーアームシャフトストッパーを取り外す。IN、EXのロッカーアームのアジャストナットを緩め、アジャストボルトを緩めておく。



◇ロッカーアームを手で持ち、ロッカーアームシャフトを引き抜いてIN、EXのロッカーアームを取り外す。

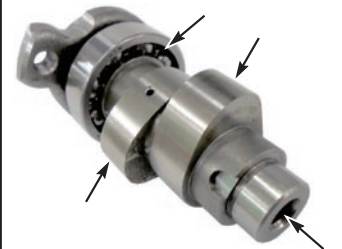


◇カムシャフトを抜き取る。※エンジン組立て時や使用に伴い、シリンダーヘッドはわずかに歪み、カムシャフトが非常に脱着しにくい場合があるので、その際はシリンダーヘッドを取り外し、脱着を行う。

●取り付け

カムシャフトとロッカーアームの取り付け

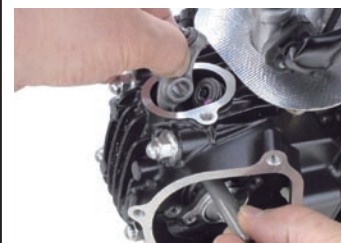
◇付属のカムシャフトのベアリング、カム摺動部、中央の穴にエンジンオイルを塗布する。



◇付属のカムシャフトをシリンダーヘッドに取り付ける。この時、シリンダーヘッドの切り欠き部にカムシャフトのカム山を合わせながら差し込んでいく。※シリンダーヘッドの個体差により、シリンダーヘッドの切り欠き部とカム山が干渉する場合がありますので、その際はシリンダーヘッドの修正加工を行う。※修正加工の際はエンジン内に削り粉が入らないようにしっかりとウエスを詰めて、ヤスリ、リューター等を用いて少しずつ削り、削り粉がエンジン内に入らないように慎重にウエスを取り除く。削りすぎないように注意する事。

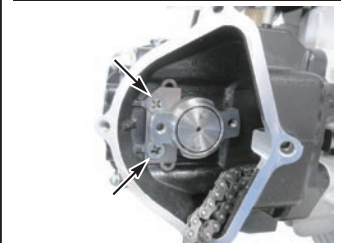


◇カムシャフトのIN、EXのカム山が燃焼室側になるようにセットする。◇ロッカーアームを手で持ち、ロッカーアームシャフトをシリンダーヘッドに差し込み、IN、EX共に取り付け。



◇ロッカーアームシャフトストッパーをネジロック剤を塗布したスクリーン2本にて取り付け。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
スクリーン  
トルク：5.2N・m (0.53kgf・m)

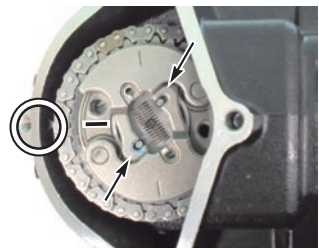


### カムプロケットの取り付け

◇フライホイールの“T”マークの線をジェネレーターカバーサービスホールの突起に合わせる。



◇カムプロケットの“-”マークがシリンダーヘッドの突起に合うようにカムチェーンを取り付ける。デコンプシャフトのピン2箇所とウエイトの爪を合わせ、カムプロケットをカムシャフトにはめ込む。



◇カムプロケットの穴にカムシャフトのネジ穴を合わせ、ネジロック剤を塗布したソケットキャップスクリュー2本を取り付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
ソケットキャップスクリュー  
トルク：12N・m (1.2kgf・m)

◇カムチェーンテンショナーのストッパを反時計方向に少し回し、プッシュロッドのロックを解除する。  
キャップボルトを取り付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
キャップボルト  
トルク：5.2N・m (0.53kgf・m)



◇スロットルセンサのコネクタを接続する。



### バルブクリアランスの調整

◇カムプロケットの“-”マークをシリンダーヘッドの突起に合わせ、フライホイールの“T”マークの線がジェネレーターカバーサービスホールの突起に合っているか確認する。

◇アジャストスクリューとバルブステムの間にシクネスゲージを差し込み、引き抜くときに少し抵抗があるぐらいに合わせ、アジャストスクリューを固定してナットを締め付ける。

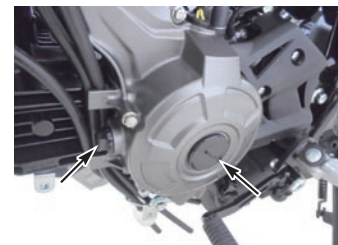
バルブクリアランス  
：IN、EX 共に 0.04 ~ 0.08mm

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
ナット  
トルク：8.8N・m (0.9kgf・m)



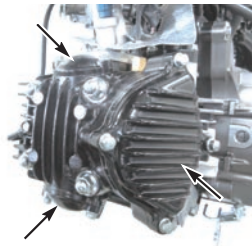
◇クランクシャフトを反時計方向に2回転まわし、再度カムプロケットとフライホイールの合わせマークを合わせバルブクリアランスが変化していないか確認する。  
クリアランスが変化している場合は再度調整する。この作業を合うまで繰り返す。

◇ジェネレーターカバーのホールプラグ2箇所を取り付ける。



◇カムプロケットカバーをボルト4本で、バルブアジャスティングカバー IN側、EX側をボルト2本で取り付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
ボルト  
トルク：5.2N・m (0.53kgf・m)

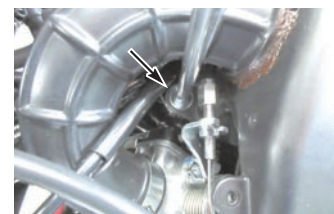
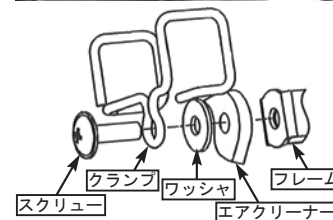


### FIコントローラーについて

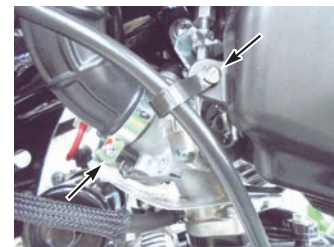
◇必要に応じ、弊社製FIコンTYPE-eをその取扱説明書に従い、取り付ける。

### エアクリーナーの取り付け

◇エアクリーナーをフレームにセットし、3本のスクリューを取り付ける。

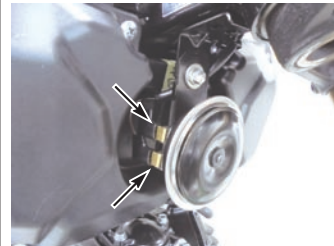
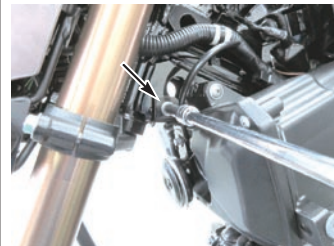


◇コネクティングチューブとスロットルボディを接続し、バンドのクランプを締め付ける。  
ハイテンションコードのクランプをエアクリーナーに取り付ける。



◇ボルトにてホーンを取り付け、配線を接続する。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
ボルト  
トルク：5.2N・m (0.53kgf・m)



◇ブリーザーホース、ドレンホースをエアクリーナーに取り付ける。



### 外装部品の取り付け

◇サービスマニュアルを参照してミドルカウリング左右、サイドフレームカバー左右を取り付ける。  
シートを取り付ける。

### FIコントローラーの設定

◇弊社製FIコンTYPE-eとの併用の際は、その取扱説明書に従い設定を行う。

### ●走行前の注意

- ◇各部を点検し、ネジやナット等の緩みが無いか確認します。
- ◇風通しが良く、安全な場所で十分注意してエンジンを始動し暖気運転させます。
- ◇エンジンからの異音や、各部からのオイルもれが無いか点検して下さい。
- ◇エンジンを切り、充分冷えた後で各部を点検し、ネジやナット等の緩みが無いか再度点検して下さい。